

第9回精神保健福祉士 専門科目（やまだ塾）

国家試験 問題・解説

＝⑤精神保健福祉援助技術＜事例24＞＝（問題78～問題80）

【精神保健福祉援助技術】

（精神保健福祉援助技術・事例問題4）

次の事例を読んで、問題78から問題80までについて答えなさい。

（事 例）

統合失調症で福祉ホームB型「Uホーム」に入居していたSさん（49歳、女性）は、一時精神的な不調をきたし、元の病院に数か月再入院した後、単身でのアパート生活に踏み切った。幸い、アルバイトをしていたスーパーマーケットが再雇用してくれたこともあり、総菜部門で週3日働くことができ、順調に地域での生活に戻ることができた。Uホームで付き合い始めたPさん（56歳、男性）とは、その後も交際を続けており、お互いに生活の張りになっている様子である。PさんはUホームに3年近く入居しているが、Sさんのアパート生活が半年ほど順調に続いていたある日、新人職員のM精神保健福祉士に「ここを退所後はSさんと一緒に暮らしたい」と相談があった。M精神保健福祉士は、Pさんには糖尿病があること、金銭管理ができないこと、食事も作れないことなどを具体的に指摘し、同居はSさんに負担をかけ、結局はお互いのためにならないことを筋道立てて説明し、グループホーム入居を勧めた。（問題78）

面接を契機にPさんはよほどショックだったのか、寡黙になり、部屋から出たがらず食事もほとんど残す毎日が続き、困った施設ではケアカンファレンスを持つことになった。出席者は、施設長、主治医、M精神保健福祉士、栄養士、市の保健師、福祉事務所生活保護担当者、Sさんを担当している病院の訪問看護師である。ケアカンファレンスの議論は真二つに分かれた。訪問看護師は、Sさんは服薬もきちんとしており、仕事も週3日で余裕があり、何よりもPさんとの二人の生活を楽しみにしている様子で支援したいと主張する。施設長、施設の栄養士、市の保健師は賛成する。しかし、M精神保健福祉士と福祉事務所の担当者はSさんとの同居に反対した。（問題79）

会議では結論を見いだせなかったが、数日後、SさんがPさんを伴い主治医に談判したこともあり、結局、退所まで必要な訓練を受け、地域での支援態勢を受けることで同居生活を準備することになった。（問題80）

問題78 この時点でのPさんへのM精神保健福祉士の取るべき対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- A. 穏やかな口調で諭すように、時間をかけて話す。
- B. 糖尿病の怖さは、栄養士が伝えるように工夫する。
- C. Pさんの決断を尊重するが、施設として責任は持てないと伝える。
- D. 支援を続けることと、リスクも高いことを伝える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 79 意見が二分したが、このようなときのケアカンファレンスの運営に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 参加者は自分のかかわりを点検し、自ら変わろうとする姿勢で望むのがよい。
- B. このまま様子を見るのではなく、多数決で決めるのがよい。
- C. 意見のぶつかり合いは必要だが、相手の話を肯定的に聞くのがよい。
- D. チームワークを優先し、結論を急ぐ必要はない。

(組み合わせ)

1	A B
2	A C
3	A D
4	B D
5	C D

問題 80 主治医の対応を聞かされた後、M精神保健福祉士の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. ケアカンファレンスの結果と違うため、主治医の判断を批判する。
- B. 関係者の支援方針を一致させるために再度、ケアカンファレンスを開くよう提案する。
- C. Pさんたちとの合意なので、気持ちを切り替え退所後の支援方策を考える。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D. Sさんに、ケアカンファレンスの真意を伝え再考を促す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○